在宅医療支援システム研究会次第

日時　令和８年８月２５日（火）
１８時３０分～
場所　介護老人保健施設くろかみ　研修室

１　開　　会

２　あいさつ

３　報告、情報提供

① 「こころの健康づくり講演会」(10/10)の案内、「おロの健康づくり推進事業」について「にいみ健康ウォーキング」の案内(健康医療課)

② 認知症市民研修会(9/5)の案内、「リエイブルメント事業」について(高齢者支援課)

③ 「災害ボランティア養成講座」の案内、「なんでも相談会」の案内(新見市社協)

④ 「新見地域で、いかに腎臓を守れるか？　川崎医科大学付属病院との連携懇話会」(9/11)の案内(新見医師会)

⑤ 令和８年度第２回多職種連携・人材育成研修会(7/16)の報告、「若手医療・介護従事者交流会」(8/29)の案内(まんさく)

４　協議事項

・情報連携ツールMCSの進捗状況(高齢者支援課)

次回開催日
令和 ８ 年 ９ 月　２９日（ 火 ）

こころの健康づくり講演会

守ろう！こころの健康

ー 気づく・つながる・支えあう ー



講師　浅原（あさはら）　佳紀（よしのり）　氏

新見公立大学 健康科学部 看護学科
講師（精神看護専門看護師）

◇◆◇◆ピアサポーターによる体験発表もあります◆◇◆◇
＊ピアサポーターとは…病気や障害、その他の困難な経験を活かし、
同じ境遇にある人をサポートする人のこと

日　時	令和8年 10月10日（土） 13:30～15:00（受付13:00～）
場　所	新見市役所南庁舎 ３階大会議室
定　員	50名
申込み	電話または新見市公式LINEの 【各種予約】からお申し込みください▶ 要予約・先着順

参加費 無料

≫申し込み期限　１０月５日(月)≪

新見市公式LINE



“大切な命”と“こころの健康”を守るため、
私達ができることを一緒に学びませんか？



【お問い合わせ】新見市役所健康医療課　TEL:(0867)72－6129

主催／新見市　共催／岡山県備北保健所新見支所・新見こころの健康を考える会

事業者のみなさまへ

NEW

職場でお口の健康チェックしてみませんか？

― たった5分の【唾液検査】でお口の健康状態がわかります！ ―

むし歯の痛み、歯周病による腫れなど不快症状を放置しておくと…
集中力の散漫、仕事能率の低下⇒**労働災害のリスク増大**

参加費無料



毎日元気に働くためには、お口の健康も大切です。

唾液検査は少量の唾液を採るだけで、お口の状態を手軽に確認できる健康チェックです。

短時間で受けられるため、職場での健康づくりにもおすすめです！

こんな事業所におすすめです

- ☑ 従業員の健康づくりに取り組みたい
- ☑ 健康経営を推進したい
- ☑ 歯やお口の健康への意識を高めたい
- ☑ 気軽に参加できる健康事業を探している

唾液検査でわかること

- むし歯のなりやすさ
- 歯ぐきの健康状態
- お口の清潔度
- 唾液のはたらき

など



ー実施までの流れー

日程の決定

健康医療課の担当者と健康教室の日程を調整します。

事業の実施

健康教室で唾液検査を実施。当日は歯科医師などの専門職が検査結果の説明をします。

事後アンケート

実施後１か月を目途に参加者はアンケートのご協力をお願いします。

【問い合わせ先】　新見市役所健康医療課　７２－６１２９

ー職場でお口の健康チェックしてみませんか？ー

唾液検査のご案内

参加費無料

日　時　毎週木曜日
　　１３：００～１５：３０

対　象　新見市内の企業に勤務する検査希望者

内　容　歯科医師等の専門職が企業に出向き、
唾液検査を行った後、結果説明やセルフケア等のアドバイスを行います。
①事前アンケート（当日）
②多項目・短時間唾液検査システム（SMT）
③歯科医師による結果説明
④事後アンケート（約１か月後）

方　法　要予約制
※事前に健康医療課までご連絡ください



歯周病やむし歯は、痛みだけでなく集中力の低下や生活習慣病のリスクにもつながります。

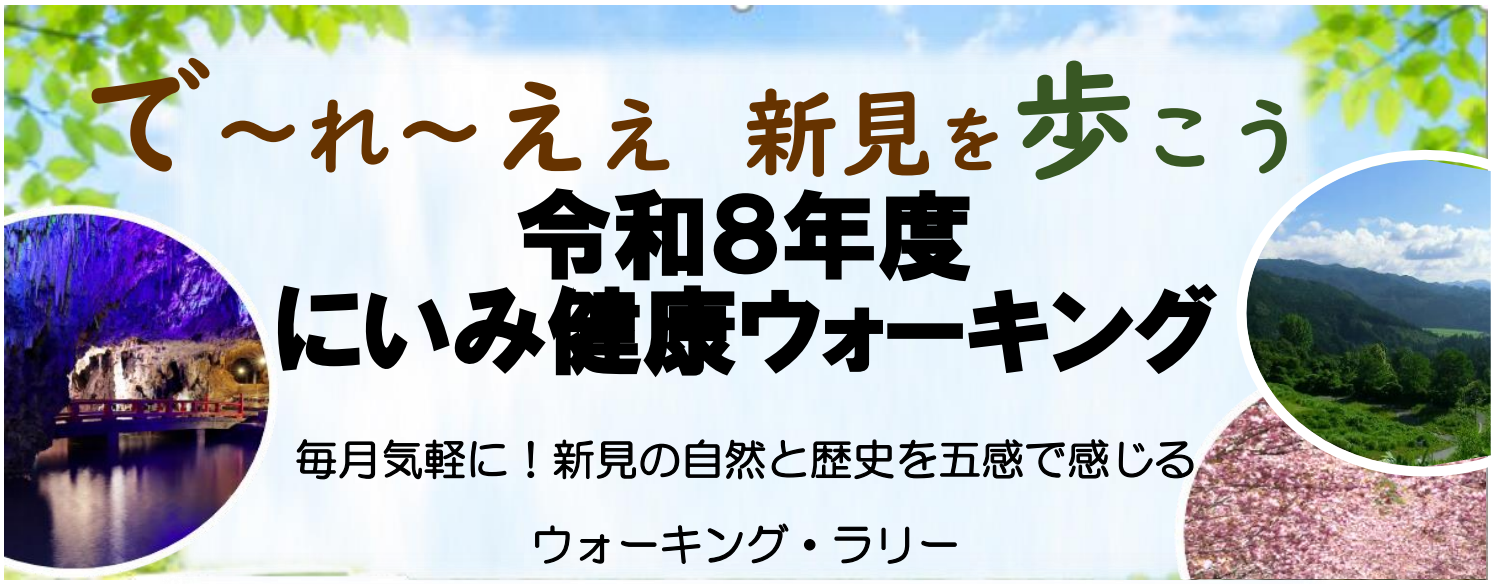
働き盛りの今だからこそ、お口の状態を知り健康づくりに取り組みましょう。

＜唾液検査でわかること＞

- お口の中のむし歯菌の量
- 歯が溶けやすい環境かどうか
- 食後お口の中が中性に戻るスピード
- 歯周病の可能性
- 磨き残しや汚れの多さ
- 口腔内の清潔度、細菌の活動レベル

※飲食、歯磨きは唾液検査の２時間前までに済ませてください

【問い合わせ先】新見市役所健康医療課　７２－６１２９



で～れ～えぇ 新見を歩こう

令和8年度 にいみ健康ウォーキング

毎月気軽に！新見の自然と歴史を五感で感じる

ウォーキング・ラリー

参加希望の方は実施日の前日までに、健康医療課（☎72-6129）へ予約してください。

実施日	時間	コース　（各コース約3km）	運動強度
7月30日（木）	10:00 ～ 11:30 受付：9:30～	満奇洞（満奇洞内と周辺） 集合場所：ふれあいセンター満奇駐車場	★★★☆☆
8月26日（水）		鯉が窪湿原 集合場所：鯉が窪湿原駐車場	★☆☆☆☆
9月25日（金）		別所アウトドアセンター、鳴滝周辺 集合場所：別所アウトドアセンター駐車場	★★☆☆☆
10月13日(火)		新見公民館、船川八幡宮、城山公園 集合場所：新見公民館	★★★★☆
11月9日（月）		健康の森（ふれあい広場発） 集合場所：ふれあい広場	★★★★☆
12月1日(火)	14:00 ～ 15:30 受付：13:30～	大佐B&G海洋センター周辺 集合場所：大佐B&G海洋センター駐車場	★★★★★
1月13日(水)		新見公民館、船川八幡宮、城山公園 集合場所：新見公民館	★★★★☆
2月22日(月)		夢すき公園周辺（親子孫水車） 集合場所：夢すき公園駐車場	★★☆☆☆
3月12日(金)		羅生門、羅生門さくら公園周辺 集合場所：羅生門さくら公園あずま屋	★★★☆☆

★が多いほど運動強度が高くなります

参加費用　無　料（別途、施設利用料等が必要なコースもあります。）

持ち物　飲み物、タオル、帽子、歩きやすい靴、ウォーキングポール（貸出あり）

お知らせ　天候不良の場合は中止することがあります。
中止の際には電話連絡いたします。予約の際には必ず電話番号をお知らせください。



予約

予約メールはこちらから

申し込み / 問い合わせ　新見市 健康医療課 ☎ 0867−72−6129

認知症市民研修会

映画上映「父と僕の終わらない歌」



全てを忘れ行く父を繋ぎとめたのは
愛し愛された家族、そして音楽だった。

入場無料
事前申込必要
8/28(金)までに
お申し込みください

世界中に笑顔と希望を届けた感動の実話。
アルツハイマーの父とその息子が奏でた奇跡。

日時：9月5日(土)（開場13:30） 14:00～15:40
会場：まなび広場にいみ小ホール（新見市新見123-2）
定員：先着200名
申込方法：電　話（0867-72-6209）
メール（hokatsu@city.niimi.lg.jp）

メールでの
お申込みはこちら

寺尾 聰　松坂 桃李

佐藤 栞里　副島 淳　大島 美幸（森三中）　齋藤 飛鳥　三宅 裕司　石倉 三郎　佐藤 浩一（友情出演）　松坂 慶子

Inspired by the book “The Songaminute Man” by Simon McDermott『父と僕の終わらない歌』サイモン・マクダーモット 著 浅倉卓弥 訳（ハーパーコリンズ・ジャパン）

監督：小泉徳宏　脚本：三嶋龍朗　小泉徳宏　音楽：横山克

©2025「父と僕の終わらない歌」製作委員会







主催：新見市地域包括支援センター　お問い合わせ先：0867-72-6209

共催：高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議新見部会、オレンジの会

災害ボランティア養成講座



令和８年度

いざという時
地域で支え
合うために

受講者募集



日時 令和8年 **9月12日(土)**
13:00▶16:00(受付/12:30～)

場所 **新見市地域福祉センター内 多目的ルーム** 新見市金谷 640-1

対象 高校生以上で災害ボランティアに興味のある方

講師 社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会
統括専門員 **椿原（つばきはら） 恵（めぐみ）氏**

プロフィール

社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会事務局次長として、2016 年の熊本地震対応に携わる。その後、大阪府北部地震、西日本豪雨において被災地支援に従事し、災害ボランティアセンター運営や被災者支援活動の後方支援を担当。直近では、能登半島地震における支援活動に参加し、被災者支援に携わる生活支援相談員等への研修・人材育成にも従事。

近年、全国各地で自然災害が多発し、被災地ではボランティアの不足が大きな課題となっています。もし新見市で災害が起きたとき、地域のみなさんや関係団体が力を合わせて「災害ボランティアセンター」を運営していくことが、これまで以上に大切になります。

この講座では、災害ボランティアセンターの役割や仕組みを学び、実際の運営を体験しながら、いざという時に何ができるのかを一緒に考えます。“もしも”の時に備えて、地域を支える力を育てませんか？みなさまのご参加を心よりお待ちしています。

お問い合わせ・お申し込み

本所または各支所に電話かGoogleフォームからお申し込みください

申込締切／令和8年 9月4日(金)

社会福祉法人新見市社会福祉協議会
新見市金谷 640-1 新見市地域福祉センター内
TEL.0867-72-7306
メール syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp

皆さんの地域福祉活動を発信しています

Googleフォーム　ホームページ　インスタグラム　フェイスブック

第16回

なんでも相談会

毎日の生活の中で、法律や福祉について困っていること、悩んでいることはありませんか。『なんでも相談会』では、安心して地域で生活できるように法律や福祉、介護、年金、空き家などについてのご質問・ご相談などお受けします。
どなたでもお気軽にお越しください。

予約不要・相談無料

相続に関すること

借金・お金のこと

不動産に関すること

成年後見制度に関すること

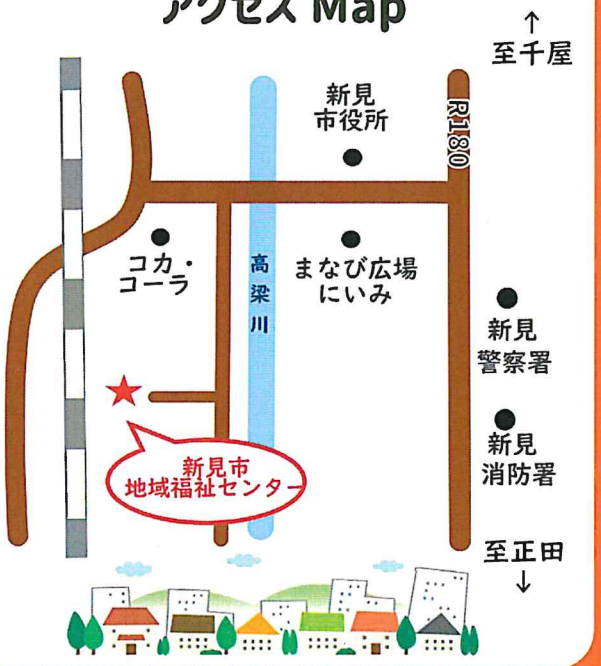
令和8年

9/26 土

13:30～16:30

場所：新見市社会福祉協議会
新見市地域福祉センター
（新見市金谷640−1）

アクセス Map



私たちが**相談**を受けつけます！（予定）

・弁護士　・司法書士　・税理士　・建築士　・保健師　・社会福祉士　・精神保健福祉士
・社会保険労務士　・宅地建物取引士　・介護支援専門員　など

※なお、この相談会はボランティアで行われているため、当日都合により特定の専門家で対応できない場合もあります

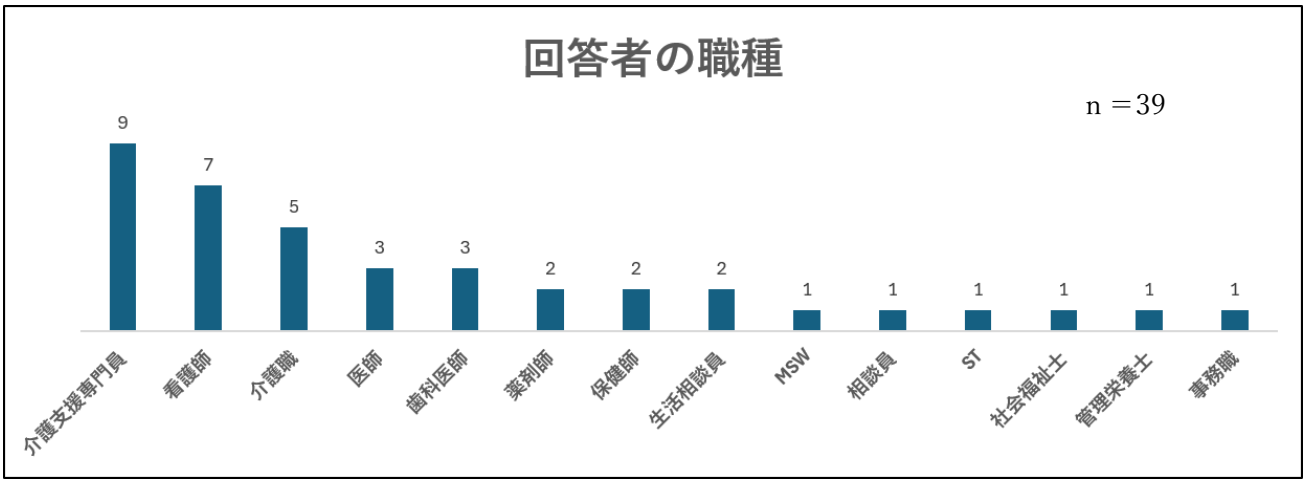
主催 ： 社会福祉法人新見市社会福祉協議会（TEL72−7306）
共催 ： 新見市
後援 ： スマイルソーシャルワーカーズにいみ
岡山県介護支援専門員協会新見支部



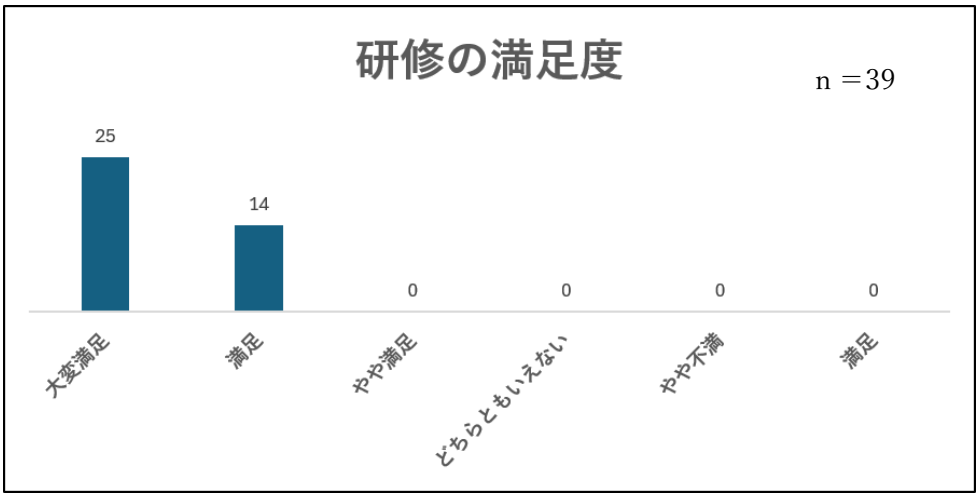
令和８年度第２回多職種連携・人材育成研修会　終了後アンケート集計結果

参加者：４８名

アンケート回答者：３９名



１　研修会の満足度について



２　学んだこと、新たに知り得たこと、感想等

・経口摂取できない方の方が悪くなること。

・高齢者の方の口腔ケアの現状をいろんな立場から伺えたのが良かった。歯のケアも参考になった。

・あいうべ体操で誤嚥のリスクが減り、肺炎の予防につながるということ。

・オーラルピースを使いたいと思った。

・寝たきり、入院中の高齢者の方に普段はかかわる職種ではないため、その視点・立場からの話をたくさん聞け、刺激になった。ありがとうございます。オーラルピースという用品は今回初めて知った。

・難しく考えないで、ハードルを低くして、毎日行う。

・口腔ケアの重要さをやはり若い世代から伝えていくことが大切だと思った。（保健師）

・歯周病→早産への影響のメカニズムがわかっていなかったので、今日知れたことが良かった。妊婦さんに関わることが多いので、伝えていきたい。口腔ケア用品の使い分けが知れたので、自分のことにも勉強になった。

・口腔ケアが重要なこと。口腔体操、マッサージで唾液の分泌を促す。他施設との交流も図れて良かった。

・オーラルピースを使用してみたいと思った。

・他職種の話が聞けて参考になった。

・口腔ケア中の唾液が中に入るのは危険だということ。

・現場での困りごとを知れて良かった。（歯科医師）

・多職種の口腔への関心の多さがはげみになります。（歯科医師）

・オーラルピースという歯みがきチューブがあることは知らなかった。

・口腔ケアの重要性の再認識。保湿剤の使用がよい(施設入所者等、口腔内乾燥が目立つ)。

・歯科医師の先生方を知ることができてよかった。グループワークで多職種の意見を聞くことができてよかった。オーラルピース、使いたい。

・誤嚥性肺炎と口腔ケアの重要性を学んだ。口腔内について意識する。

・歯科受診、歯科医への相談が身近に行えると感じた。

・専門性を意識した自分の役割を把握して対応したい。

・口から食べられない人の方が誤嚥性肺炎になりやすい。胃ろう等経管栄養をしている方こそ、しっかりと口腔ケアをする必要がある。一人の人間に対して病気は内科的なことであっても、歯科の病気が関連していること、双方が連携していくことの大切さを学んだ。

・口腔ケアをした後の唾液が一番汚いのでうがいは大切。食べない人の方が口腔内は汚れやすいということを学んだ。セルフケアとプロケアが大切。

・根気が大事、あせらず少しずつすすめる。

・あいうべ体操はしっかりやることで口呼吸が鼻呼吸になり、誤嚥も防げ、虫歯や歯周病も防げることが改めてよくわかった。ありがとうございました。

・食欲低下について、体調だけでなく口腔内や歯の調子について気にすることも大切と感じた。

・口腔ケアの必要性、メリット、デメリットを再確認できた。LINE で予約できる。

・歯科医の先生に質問でき、多職種からの意見が聞けて勉強になった。

・訪問看護では身体ケアが中心で、口腔内は二の次になっていたが、今回の話を聞き、口腔内にもしっかり目を向けていきたいと思った。

・摂食により口腔内の汚れが取り除けること。口腔内の清潔を保てない方は食物残渣が多いこともあるため、まずはうがいをして大きいものを出すことで「さっぱりした」という気持ちも大事であること。自宅でケアができていない方へは、まず洗面所の前に立ち、口腔内を自分自身で見ていただく機会も大事だということ。

・義歯を作成するだけでなく、その後の栄養指導も重要であること。

・他職種の方がどのくらいマウスケアについて知っているのか、取り組んでいるのかが分かってよかった。病院から施設にどのように申し送ればよいかが分かった。(看護師)

・病院(歯科医院？)に、訪問(歯科)診療の依頼ができること。(看護師)

・口を見れば健康状態や予後がだいたい経験上わかるが、歯科医師の話を聞いて口の中の傷や炎症から病原菌が入ってしまうというのがよく理解できた。

・普段聞くことのできない施設の口腔ケア等について知ることができて良か

った。

・チャンスが少ない。ケア用品紹介が興味深かった。もっと歯ブラシ(電動)についても聞きたかった。(事務職)

・歯科の先生にいろいろ質問できて良かった。オーラルピースを知ることができた。歯科の先生方がやさしく話しやすいことに気づいた。

・研修時間を気にせず受けたかった。次回は森下先生、宮原先生に時間を気にせず話をしてほしいと思った。現場で一番口腔ケアを知っておくべき看護師の参加が少ないのが気になった。

・いい話をしてもらい勉強になった。利用者に対して、これからも頑張っていきたいと思う。

３　今後取り組んでいこうと思う「口腔ケアの実践」「口腔ケアの啓発活動」などについて

・口内環境と健康のつながりについてのパンフレットなどを置く。オーラルケア用品(OTC)を取りそろえる。(薬剤師)

・薬局では飲み込みにくいなど、だいぶ症状が進んだ方に気づくことが多いので、早めに気づけるように努めたい。(薬剤師)

・歯科の定期受診。あいうべ体操の普及。(ＭＳＷ)

・デイサービスの利用者に口腔ケアの実践はなかなか難しいが、声かけをしていこうと思う。(生活相談員)

・オーラルピースを検討してみて、可能であれば利用者様、ご家族様にお勧めできるようになるかもしれない。「あいうべ体操」を数年前に実施していたがいつの間にかやらなくなっていた。これを機に再開するのもよいと考えた。（生活相談員）

・毎日行う。75 歳なので 80－20 を目指す。（相談員）

・訪問した際に口腔の状態について聞き取りや声かけをして、歯科医とも連携していきたい。（保健師）

・高齢の方はもちろん、妊婦さんへの早産リスク（歯周病との関連）、子どもに歯みがきをする乳幼児の保護者にも意識づけ→それが子どもの意識向上につながること。定期受診の大切さ、「歯医者さん怖くない」と子どもに知ってもらうように伝えていきたい。（保健師）

・あいうべ体操を毎食前にしたらよい。利用者の意識向上に努めたい。（介護職）

・口腔ケアの重要性を利用者、職員へ伝えていくことが大切。学習会なども計画していきたいと思った。（介護職）

・自歯、義歯の利用者様を見極め、合った声かけをさせていただく。（介護職）

・訪問歯科をうまく利用したい。（介護職）

・患者、利用者、新見市民に口腔ケアについて知ってもらう方法を歯科医師

会で考えていきたい。（歯科医師）

・歯科のことを取り上げていただきありがとうございました。質問を受けることで、歯科でない方からの意見が聞けて良かった。（歯科医師）

・積極的に、ＤＭ等の患者さんに歯科受診を勧めたいと思う。（医師）

・日々の診療で口腔内を診る心がけ。施設の方の歯科コンサルトを勧める。（医師）

・もっと口腔ケアの重要性を伝える。（介護支援専門員）

・歯科医師と一緒の担当者会議。（介護支援専門員）

・口腔ケアの大切さを啓発していきたい。訪問診療のできる先生を紹介する。（介護支援専門員）

・いろんな道具があるので、活用していきたい。日々の情報提供が大切なので引き続き行っていく。歯科へつなぐ。（介護支援専門員）

・口腔ケアと健康とのつながり、肺炎予防などの話を分かりやすくしていく。取り組みやすいケアを提案する。一緒に考える。（介護支援専門員）

・訪問時に家族や本人へ月１回しっかり確認していこうと思う。（介護支援専門員）

・訪問診療、往診できるなど情報提供を行う。（看護師）

・訪問診療について知ることができ、勧めていきたいと思う。（看護師）

・口腔トラブルがあり、訪問歯科などが必要であればケアマネさんに伝え、

導入してもらえるようにつなぎたい。（看護師）

・デイサービスの利用者様へ口腔ケアをすることで誤嚥の防止につながること、健康面などをレクリェーションの場で伝えていく時間を作っていこうと思う。（看護師）

・口腔ケアは意識して聞いたり、実施したりしているので、今後も引き続きしていきたい。口唇のケアを一番にするとよいと知ったので行ってみたい。（看護師）

・あいうべ体操の導入。口腔ケアの講演を歯科医師にしてもらう。（看護師）

・若いころから口腔ケアを心掛け、認知症になってもできるような習慣づけができたらいいと思う。若い人への働きかけが必要。（介護福祉士）

・誤嚥性肺炎とはどんな病気かということをもっと啓発していきたいと思う。（管理栄養士）

・訪問歯科診療を勧めたいと思った。（介護支援専門員）

・毎日の利用者の口腔ケアをしていきたいと思う。（介護職）

令和８年６月吉日

新見市内各職能団体、病院、施設等　代表者様

新見市在宅医療・介護連携支援センター受託団体
新見市在宅医療・介護連携支援センター　まんさく

「若手医療・介護従事者交流会」のご案内

日頃より新見市在宅医療・介護連携支援センターの活動にご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさくの事業の１つに「在宅医療・介護連携に関する相談支援」があります。これまでも医療・介護従事者のみなさまからの相談を受け、ご意見を元に市内の情報連携ツールの統一を目指したり、新たな委員会を立ち上げたりしてまいりました。そしてこの度、「市内の医療・介護従事者の若い人同士で情報交換をしたり、相談しあったりできるような関係づくりができるよう、若手の親睦会を開催して欲しい」という依頼がありました。そこで、新卒で５年目までの方を対象に交流会を開催することにいたしました。一人でも多くの方にご参加いただき、顔の見える関係を作っていただきたいと願い開催いたします。

大変お忙しいと存じますが、貴団体及び貴病院・施設・事業所に所属されている若手職員の研修会へのご出席についてお声掛け、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。なお当日は、看護協会新見支部の役員の方にご協力いただきます。

記

１　開 催 名：若手医療・介護従事者交流会

２　日　　時：令和８年８月２９日（ 土 ）　１３：３０～１５：３０

３　場　　所：NiU 新見駅西サテライト「えきよこ」１階　スタディラウンジ

４　内　　容：「ケーキでお茶をしながら、話しませんか？」

５　対　　象：医療・介護・福祉関係者で新卒から５年までの方

（就職して５年目の方まで。再就職でも新卒５年以下の方は含む。）

６　申し込み方法等：

申し込み用紙にご記入の上、**ＭＣＳ添付、メール添付、ＦＡＸのいずれかで**お申し込みください。

申し込み締切：令和８年８月２０日（ 木 ）まで

７　そ の 他

・駐車場はあります

「えきよこ」の建物の横を通り過ぎると大学の送迎バスが停まっている駐車場があります。舗装されていないところです。

※建物の横の舗装された駐車場は入居者の方専用ですので、停めないでください。

・申し込みをされた後、都合で欠席される場合は準備の都合がありますので、必ずまんさく（0867-88-8270）まで欠席のご連絡をください。

※当日の連絡は、土曜日にて事務所は不在ですので携帯電話のみで受け付けます。

当日の携帯電話番号：０９０-４２６３-９５２３　（当日のみ電源を入れています）

問い合わせ先：新見市在宅医療・介護連携支援センター　まんさく

電　話：０８６７－８８－８２７０

e-mail：mansaku@kurokami.jp

ＦＡＸ：０８６７－７１－０３０９

FAX　　７１－０３０９
E-mail　mansaku@kurokami.jp
MCS添付でも受け付けます

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく　宛

若手医療・介護従事者交流会
参加申込書

参加者名	
職種名	
就職して何年目ですか？〇を付けてください。	１年目・２年目・３年目・４年目・５年目
事業所名	
電話番号	
メールアドレス	

連絡事項等があればご記入ください

締め切りは８月２０日（木）です